

くるまとお金

くるまの維持費について考えてみたことがありますか？

くるまには、保険や駐車場代金、税金が必ず必要になってきます。

そのため、くるまを保有して維持するだけでも、結構お金がかってしまいます。



くるまの維持費を考えた使い方

1台のくるまを1年間普通に使った場合に必要な費用を計算してみました。
普通に使うだけで、年間約25万円、1日あたり約690円かかります。

もちろん、電車やバスは利用しただけの料金ですみます。
みなさんも、維持費のことを考えて、
電車やバスを使ってみませんか？



市内のバス情報

バスの利用に不安を感じている
方に必見！

市内のバス路線が一目で分かる
マップをご紹介します。

コミュニティバス
「めぐる」



身近な公共交通を
ご利用ください！

新型コロナにうつらない、
うつさないために、今、できること。
**バス・電車・この3つを守れば
感染リスクはほとんどありません！**

1 常に
しっかり
換気！

これで(広義の)「空気感染」
リスクはほぼゼロ！



2 「目・鼻・口」は
何が何でも
触らない！

これで「接触感染」リスクは
ほぼゼロ！ ウイルスの違う人と
話すなら 小さく「マスク」！

3 お静かに…。
話すなら
小さく「マスク」！

これで「飛沫感染」させる
リスクはほぼゼロ！



発行：一般社団法人日本モビリティ・マネジメント会議(JCOMM)

[発行・お問合せ]

和泉市 都市デザイン部 都市政策室 交通担当 TEL:0725-99-8145 FAX:0725-43-1348

家族で考える かしこいくるまの使い方



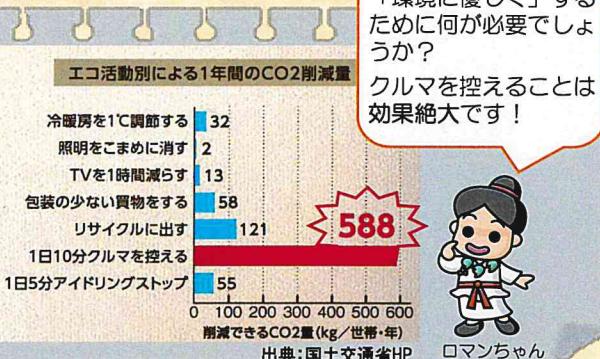
くるまと環境

くるまはとても便利です。

でも、大気汚染、騒音、振動等の問題と地球温暖化に影響を与えています。
…私たちが環境問題に貢献できることはないのでしょうか？

「環境に優しく」する
ために何が必要でしょ
うか？

くるまを控えることは
効果絶大です！



「環境に優しい生活」とくるま利用

ちょっとくるまを使うだけあなたが排出
するCO2（二酸化炭素。地球温暖化ガス）
は何倍にもなってしまいます。



「くるま」から「バス」へ



「バス」や「鉄道」は一度にたくさん的人が
利用します。
ですから、バスや鉄道を利用すれば、CO2を
あまり出さずに移動できます。

ひとり一人が環境のためにできること
環境問題は「1人」では解決できません。
しかし、ひとりひとりの小さな努力が大き
な問題の解決につながります。

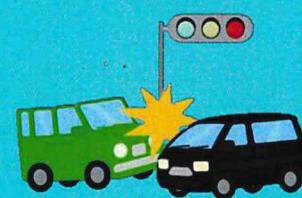


クルマと安全

クルマを運転することは、自分にも他人にも危険が伴います。
「自分は事故を起こさない」と思って、普段運転していませんか?
しかし現実には…

「659件」

これは、令和元年（平成31年）の和泉市における交通事故の発生件数です。
これらの事故の発生原因のほとんどはクルマの運転者にあります。



注意しているからといって安全とは限りません。

「安全な運転を心がけている」
「十分な安全確認を行っている」
自分ではそう思っていたとしても実際の運転行動が伴っていないケースもめずらしくはありません。



年齢に伴い、運転技能は低下します。

高齢になるほど、危険を察知してから「ブレーキを踏むまでの反応時間」が長くなり、「車が停止するまでの距離」が長くなります。
事故の危険性は、あなたの近くにもひそんでいます。もう一度、クルマとのつき合い方について考えてみるのもいいかもしれません。



安心
安全

クルマと健康

運動不足になってしまいませんか?
普段から歩く習慣をつけていますか?

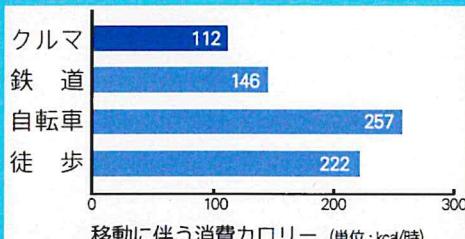


クルマを使う習慣の強い人ほど歩きません。
歩行は、無駄なく運動量を調整でき、ダイエットとしても有効です。
そして、日本人の死因の1・2位である、
がん・心疾患に予防の効果があるとされています。
これまでの死因の3位が脳血管疾患から
老衰になっています。
[厚生労働省2018年人口動態統計月報年計]

クルマでの移動中、カロリーはあまり消費されません。

クルマはずっと座っていられます。
だからこそ、便利なのですが、
だからこそ、健康にはあまり良くありません。

例えば、1時間クルマで移動する代わり
にバス・電車を使えば、それだけで消費
カロリーは2倍程度になります。



[出典：日本生活動作によるエネルギー消費量
日本体育協会スポーツ科学委員会に基づいて算定
(体重65kgの男性の場合)]

「クルマ以外での移動」で健康的な生活へ

クルマに乗っているとほとんど歩かなくなってしまいます。
でも、バスや電車を使う生活では、自然と「歩く」ことができます。

クルマに乗らない生活を2週間続けるだけで「血液中の中性脂肪」が半減したという実験データも報告されています。
ジョギングや水泳、そして「ダイエット」の前に、「普段の移動」を見直してみるのも、いいかもしれません。



普段から歩くように
心がければ、すいぶん
健康的な生活になるよ



同程度の
消費カロリー

20分歩く
ジョギング10分
水泳7分